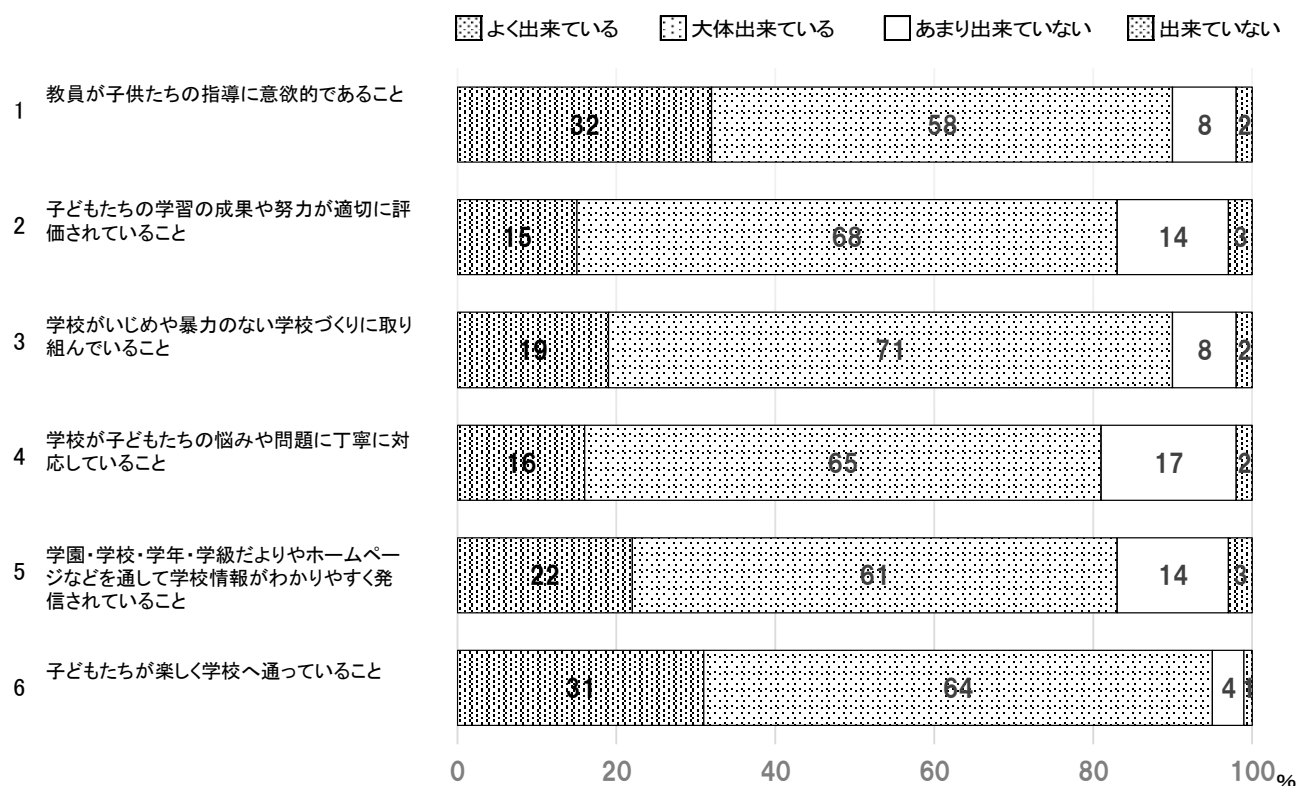


# 令和2年度 三鷹中央学園 学園・学校評価アンケートまとめ

## 【第四中学校】

アンケート実施日	: 令和2年10月28日～11月5日
アンケート対象者	: 第四中学校保護者
回収率	: 350世帯/366世帯(95.6%)



### アンケート結果から得られた成果と課題

※「肯定的回答」…「よく出来ている」「大体出来ている」の合計  
 ※「否定的回答」…「あまり出来ていない」「出来ていない」の合計

#### 成果

今年度は質問項目を整理し、3項目減らして6項目としました。肯定的回答の割合が最も高かったものは、6「子どもたちが楽しく学校へ通っていること」の95%でした。学校生活振り返りアンケートでも、「自分のクラスが好きだ」と答えた生徒は93%です。2番目は、1「教員が子どもたちの指導に意欲的であること」の90%でした。また、昨年度肯定的割合が最も増加した、3「学校がいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいること」は、さらに3ポイント増加し、90%で3番目となりました。「いじめゼロサミット」が定着し、子どもたちにも、いじめ未然防止の意識が高まっています。学校生活振り返りアンケートでは、「友達が、困ったりいやがったりすることをしないようにしている」と答えた生徒は93%でした。今年度はコロナ禍で、運動会・音楽会など全校での学校行事ができない状況ですが、四中生としての誇り「四中PRIDE」をもっていると答えた生徒は81%でした。引き続き、「信頼と誇り」に基づいた、活力と規律のある学校をつくっていきます。

#### 課題

昨年度まで、否定的回答の割合が2割を超える項目がありましたが、今年度は全ての項目で肯定的回答の割合が8割を超えました。否定的回答の割合が最も高い項目は、昨年同様、5「学校が子どもたちの悩みや問題に丁寧に対応していること」でした。学校生活振り返りアンケートでは、「自分のことを理解してくれる先生がいる」と答えた生徒は82%、「自分の悩みや問題を相談できる人がある」と答えた生徒は83%で、昨年度とほぼ同様の結果でした。コロナ禍での悩みや不安が増えた生徒もあり、引き続き、教員間で生徒情報を共有するとともに、スクールカウンセラーとも連携しながら、子どもたちの悩みや問題の解決に取り組んでいかなければなりません。関係の質を高めることにより、安心・安全な学校生活が充実し、悩みや問題は減少していきます。相手の価値を発見し合い、伝え合うことを大切にすることで関係の質を高め、生徒と教員の信頼関係を深めること、生徒相互のより良い人間関係を構築することが課題です。